

令和2年度 博士後期課程開講科目表及び修了要件表

情報システム工学専攻

科目コード	区分	授業科目名	担当教員	単位数		毎週授業時間数				備考
				必修	選択	1年次		2年次		
						春～夏学期	秋～冬学期	春～夏学期	秋～冬学期	
333407	国・専	情報システム工学セミナー I D	全教員		2		2			
333408	専	情報システム工学セミナー II D	全教員		2		2			
333605	国・専	先端融合科学論	ライブニッツ ケンジ ペパー フェルディナンド クルズ ジェイソン ポール ミランダ		2		2			
333406	専	インタラクティブ創成工学演習A	前田 太郎 竹村 治雄 藤原 融 伊藤 雄一 浦西 友樹 伊達 進		4		4			
333706	専	先端生物情報融合論	清水 浩 松田 史生 戸谷 吉博 岡橋 伸幸		2		2			
333405	専	情報システム工学インターンシップD	全教員(連携講座を除く)		2	*3	*3		(*3)	
333010	国・専	海外インターンシップD(S)	全教員		4	*6	*6		(*6)	(専攻共通)
333012	国・専	海外インターンシップD(L)	全教員		8	*12	*12		(*12)	(専攻共通)
333014	専	ヒューマンウェア基礎論 I D	原 隆浩 細田 一史 岩崎 悟 MAHZOON HAMED 首藤 裕一		2		2			
333015	専	ヒューマンウェア基礎論 II D	原 隆浩 岩崎 悟 小倉 裕介 谷口 一徹 荒川 伸一 安永 憲司 岡橋 伸幸 首藤 裕一 細田 一史		2		2			
333016	専	ヒューマンウェアイノベーション創出論D	橋本 昌宜 原 隆浩 細田 一史		2		2			
333017	専	ヒューマンウェア熟議セミナーD	清水 浩 MAHZOON HAMED 谷口 一徹 荒川 伸一 岩崎 悟 細田 一史		2	1	1			
333018	専	ヒューマンウェアイノベーション入門D	土屋 達弘 若宮 直紀		2	1	1			
333019	専	ヒューマンウェアコミュニケーションD	小倉 裕介 原 隆浩 細田 一史		2	1	1			
333020	専	ヒューマンウェア融合領域プロジェクト研究D	伊野 文彦 清水 浩 谷口 一徹 荒川 伸一 MAHZOON HAMED 岩崎 悟 細田 一史		4	2	2			
333021	専	ヒューマンウェアイノベーション実践演習D			4					
333022	専	ヒューマンウェア価値創造実践D	若宮 直紀 細田 一史		2	1	1			
333023	専	ヒューマンウェアラボレーションD	伊野 文彦 清水 浩		2	1	1			
333024	専	ヒューマンウェアPI融合領域プロジェクト研究D	清水 浩 小倉 裕介 谷口 一徹 荒川 伸一 安永 憲司 岡橋 伸幸 首藤 裕一 MAHZOON HAMED 岩崎 悟 細田 一史		4			2	2	
333025	専	ヒューマンウェア国内インターンシップ(短期)D	若宮 直紀 安永 憲司 岩崎 悟		2	3	3			
333026	専	ヒューマンウェア国内インターンシップ(長期)D	若宮 直紀 安永 憲司 岩崎 悟		4	6	6			

科目コード	区分	授業科目名	担当教員	単位数		毎週授業時間数				備考
				必修	選択	1年次		2年次		
						春～夏学期	秋～冬学期	春～夏学期	秋～冬学期	
333027	国・専	ヒューマンウェア海外インターンシップ(短期)D	若宮 直紀 岩崎 悟		2	3	3			
333028	国・専	ヒューマンウェア海外インターンシップ(長期)D	若宮 直紀 岩崎 悟		4	6	6			

【修了要件】上記の科目から4単位以上を修得し、博士論文の審査に合格すること。

- (注) 1. 情報システム工学インターンシップD、海外インターンシップD(S)、D(L)を受講した場合は、1科目のみを修了単位として認めます。  
2. 情報システム工学インターンシップD、海外インターンシップD(S)、D(L)について、D1D2については年度跨ぎによる履修も可能とする。  
3. 「区分」欄の「専」は「専門教育科目」、「国」は「高度国際性涵養教育科目」、「国・専」は「高度国際性涵養教育科目と専門教育科目の両方の性質を有する科目」を表す。  
4. 333023～333028についてはヒューマンウェアイノベーションプログラム博士課程プログラム学位取得コース学生のみ履修可能。  
5. 333014、333015、333016、333017、333018、333019、333022、333023、333025、333026、333027、333028については、同Mの科目を博士前期課程において修得済の者は同Dの科目を履修することができない。  
例)ヒューマンウェア基礎論 I Mを修得済 → ヒューマンウェア基礎論 I D履修不可